

株式会社パスコ【9232】
2019年3月期 決算説明会

【2019年5月16日】



代表取締役社長 島村 秀樹



Surveying the Earth to Create the Future

会社概要

会社概要

会社名

株式会社パスコ

代表者

代表取締役社長 島村 秀樹

株式上場

東京証券取引所 市場第一部 （証券コード：9232）

事業内容

人工衛星、航空機、車両などを使って国内外の空間情報を収集
社会の課題解決の目的に合わせて加工・処理・解析を施し、
さらに必要な情報を付加した空間情報サービスを提供

連結売上高

519億円（2019年3月期）

グループ従業員数

連結：2,693名、単体：2,116名（2019年3月末現在）

本社

東京都目黒区東山1-1-2

創業

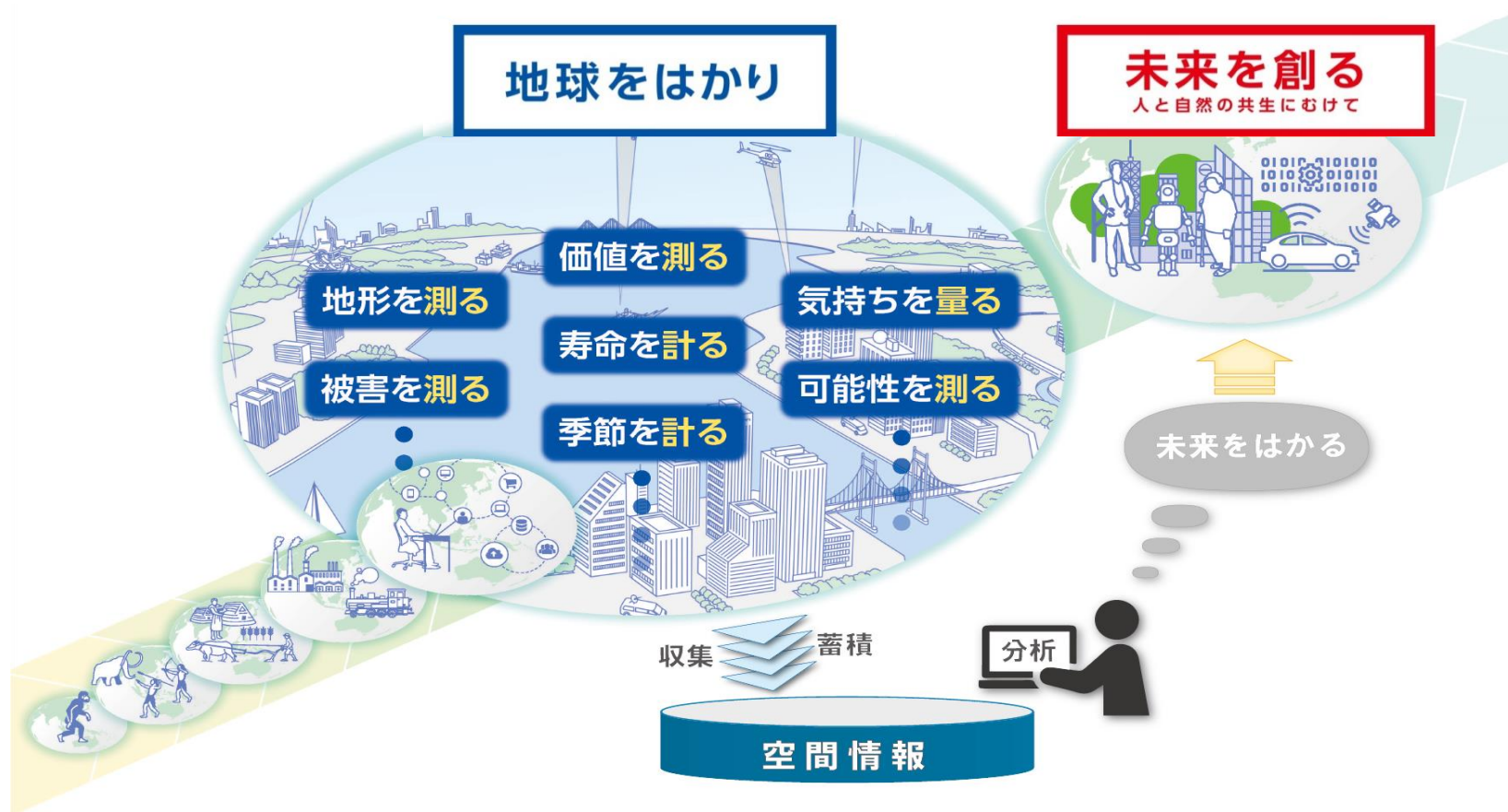
1953年10月27日（設立1949年7月15日）

主な株主

セコム株式会社（議決権比率71.4%）

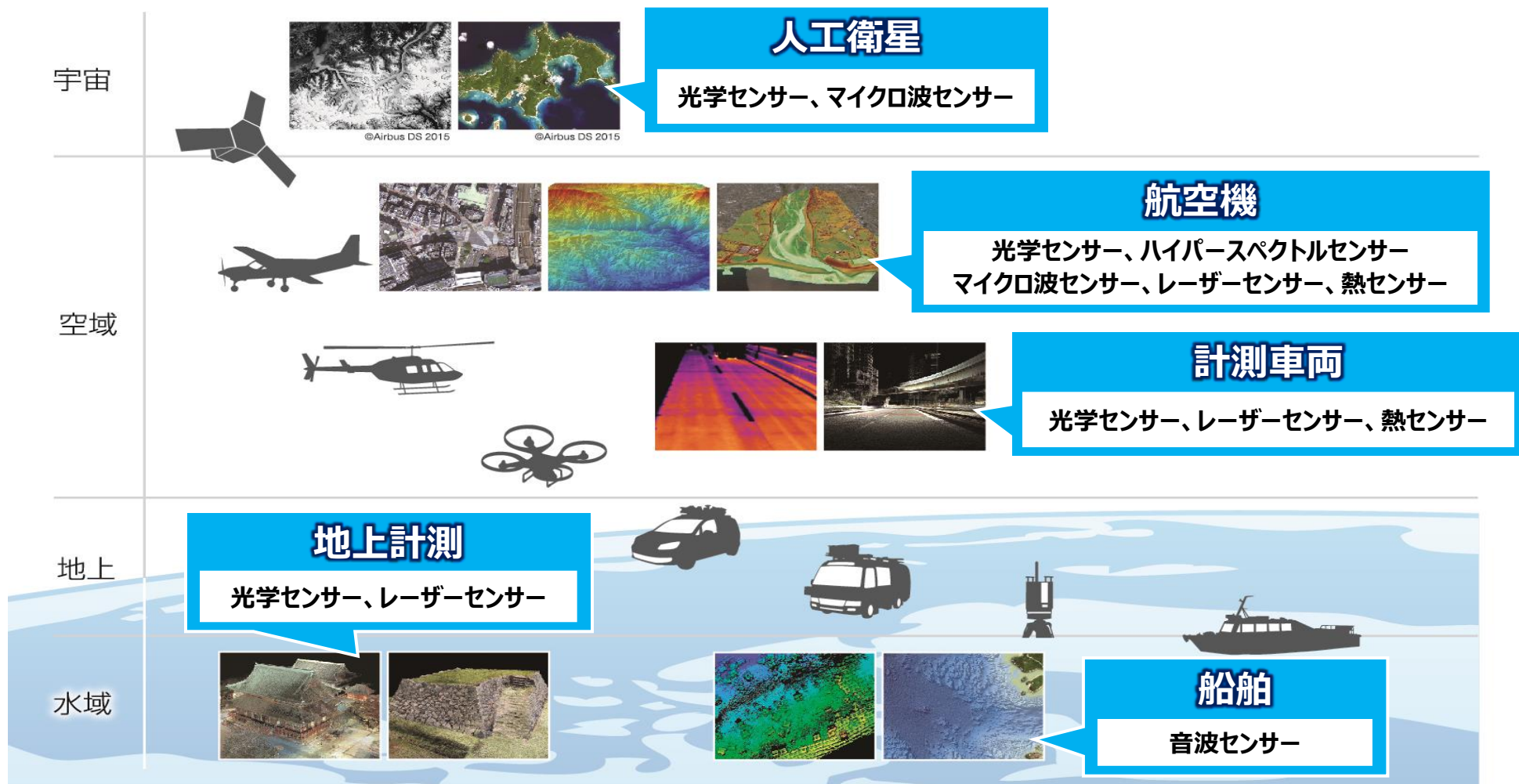
パスコグループ経営ビジョン

地球をはかり、未来を創る ～ 人と自然の共生にむけて ～



Remote Sensing (遠隔の視点)

人工衛星・航空機・ドローン・計測車両・船舶などの多彩なプラットフォームに最先端の光・レーザー・マイクロ波・熱・音波などのセンサーを搭載



Onsite Sensing (近接の視点)

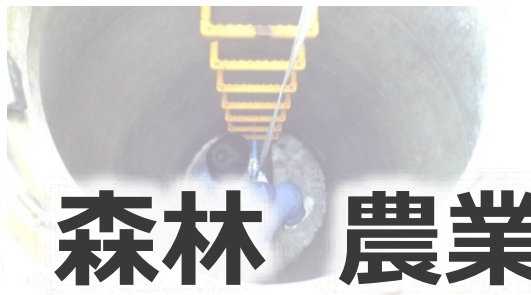
社会のあらゆる課題の現場に身を置き、現場の実態を見て、聞いて、触っている



自然災害

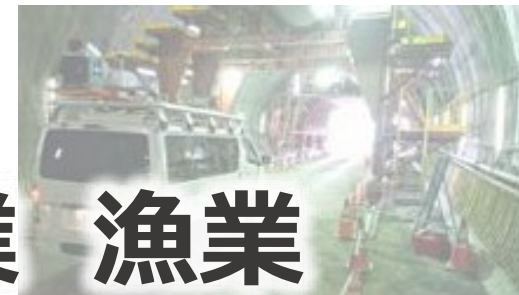


環境



森林

農業



漁業



道路



上下水道

ダム

河川



都市計画

港湾



橋梁

など

固定資産税



パスコの “3つの優位性”

2つの **視点** から社会の事象を捉え、**分析・解析** した成果で



社会的課題を解決

国土管理・保全

インフラ維持管理

災害・環境対策

行政業務効率化

市場分析・予測

リスク管理・対策

生産性向上

文化財管理



Surveying the Earth to Create the Future

パスコグループ中期経営計画 2018-2022

～ 持続的な企業成長に向けた利益体質への変革 ～

2018年5月9日 策定

「パスコグループ中期経営計画 2018-2022」より

持続的な企業成長に向けた利益体質への変革

〈目標〉

2022年度 グループ[※]連結営業利益額を倍増
(2017年度のグループ[※]連結営業利益額20億円から40億円に)

〈方針〉

データ流通社会の到来に向けた事業戦略の転換

空間情報の可視化・分析・流通を中心とした新たなサービスモデルへの事業シフト
継続契約型ビジネスと業務請負型ビジネスとの両輪による事業展開

新たな空間情報の活用を見据えた将来への投資

AI、IoT、ロボティクス、ブロックチェーン等の
次世代ツールの導入による自動化、高度化の実現

「パスコグループ中期経営計画 2018-2022」より

〈2019年3月期 方針〉 パスコ、飛躍への道

パスコの将来のために “躍進への準備” の年と位置付ける

1

「稼ぐ力」の強化

パスコがさらに飛躍するためには、国内事業における「稼ぐ力」の強化が必要である。
そのためには、経費の削減や技術革新により利益率を改善していく。

2

海外事業の健全化

また、「顕在化するリスク」を最小化することが必要である。
まずはパスコの利益を圧迫している海外子会社の健全化を図り、リスクを最小化していく。

3

管理コストの適正化

会計処理、労働管理、情報セキュリティなどの厳格化によって管理コストは増加する一方である。
今までのやり方にとらわれることなく、抜本的に見直していく。



Surveying the Earth to Create the Future

〈2019年3月期〉 活動の状況

生産体制と営業戦略の理想的な連携により、受注・売上とも効果を発揮

技術 と 営業 の本社体制を 事業統括本部 と 経営戦略本部 の体制に再編

全国の
生産能力

×

生産の
稼動状況

×

営業戦略

AI・RPAなどによる技術革新と生産性向上を推進

＜異動更新業務＞

測量図化半自動・全自動化／地積測量図仮配置全自動化

＜地番図整備業務＞

地番ラベル配置全自動化 など、実装完了

継続契約型サービスの推進によって利益体質の強固な事業基盤を構築

継続契約型サービスの増加：10%増

2017年度
約37億円

2018年度
約42億円

PasCAL

MarketPlanner

LogiSTAR

LandManager Realestate など

わが街ガイド

FinancialGIS

PASCO LocationService

施設予約システム

DR-Info

各国の市場環境の変化に対応した子会社経営の適正化
プロジェクト管理上のリスク最小化

地域	国	経営最適化の方向性
アジア	フィリピン、タイ	生産工場としての能力向上
	インドネシア	母国市場での事業拡大
	中国	事業縮小
欧州	ベルギー	事業縮小
北米	アメリカ	母国市場での事業拡大
南米	ブラジル	事業縮小

管理コストの最適化に向けたRPAの導入

業務プロセスの見直し、省力化の検討から改善まで
全管理部門の業務プロセスを精査し、RPAの導入を推進
スマート本社を目指した組織改革の推進

人事戦略（採用・制度改革・教育）

＜制度改革＞	新給与制度・地域社員制度の開始、労務管理の強化
＜人材教育＞	若手育成塾の開校、PASCO大学でOB講演

2019年3月期の主な報道発表

年	月日	発表概要
2018年	4月25日	パスコが保有する設備と運用体制のレンタルサービス「衛星地上局ネットワークサービス」を開始
	7月17日	日立システムズ とドローンによる3次元測量作業支援サービス（クラウド）を開始
	8月28日	工事現場の生産性向上「i-Construction」分野で最新技術の実用化研究と営業・生産体制を強化
	9月4日	ナビタイムジャパン と物流事業分野で業務提携
	10月17日	東南アジア地域の地球観測衛星利用で インドネシア航空宇宙研究所（LAPAN） との協力合意書を締結
	11月22日	「Mappin' Drop」が「第12回ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2018」で受賞
	12月26日	平成30年度大規模自然災害等の被災地域支援活動、環境大臣表彰を受賞
2019年	2月1日	公共事業における用地関連業務で 東電用地 と業務提携
	2月4日	アミューズワンセルフ とドローンに搭載可能なグリーンレーザースキャナの実用化研究に成功
	3月28日	スカパーJSAT と宇宙事業分野で業務提携



Surveying the Earth to Create the Future

〈2019年3月期 連結累計期間〉 財務ハイライト

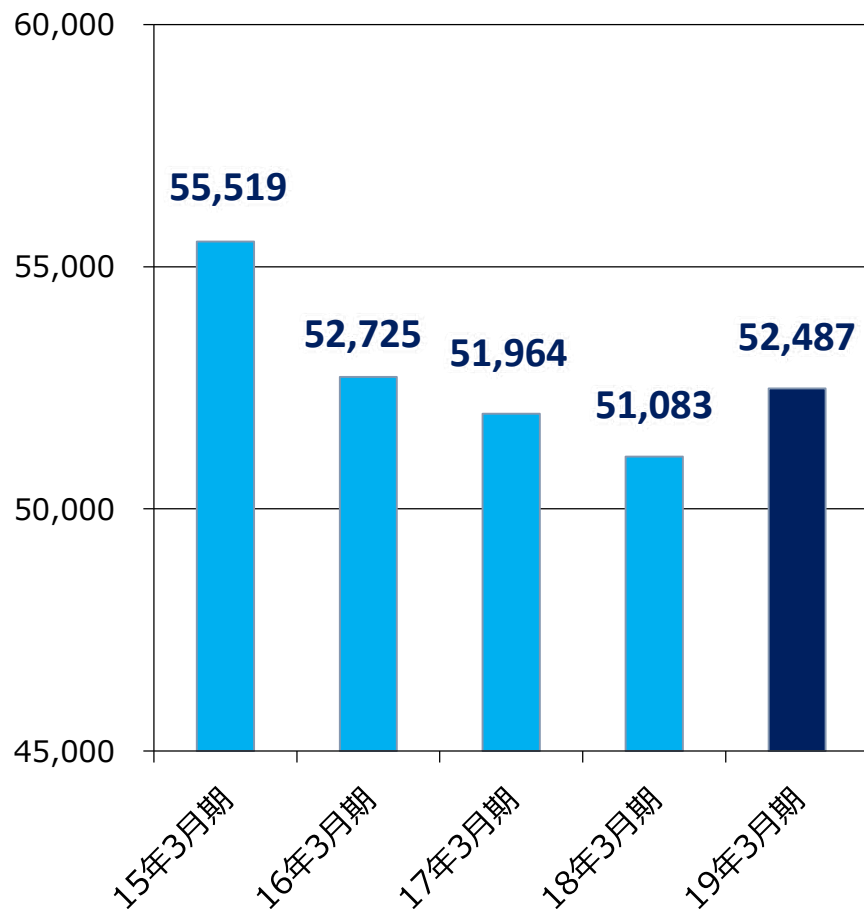


Surveying the Earth to Create the Future

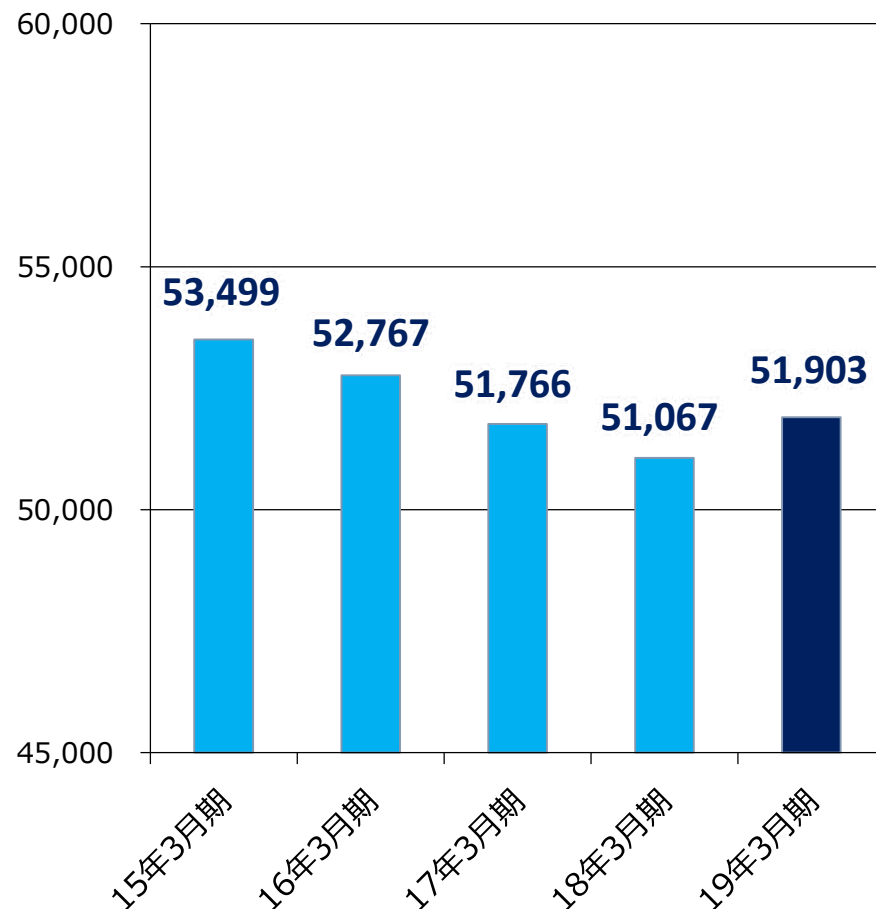
- **連結売上高と受注高の推移**
- **利益の推移**
- **四半期ごとの受注高・売上高・営業利益の推移**

連結売上高と受注高の推移

【連結受注高の推移】



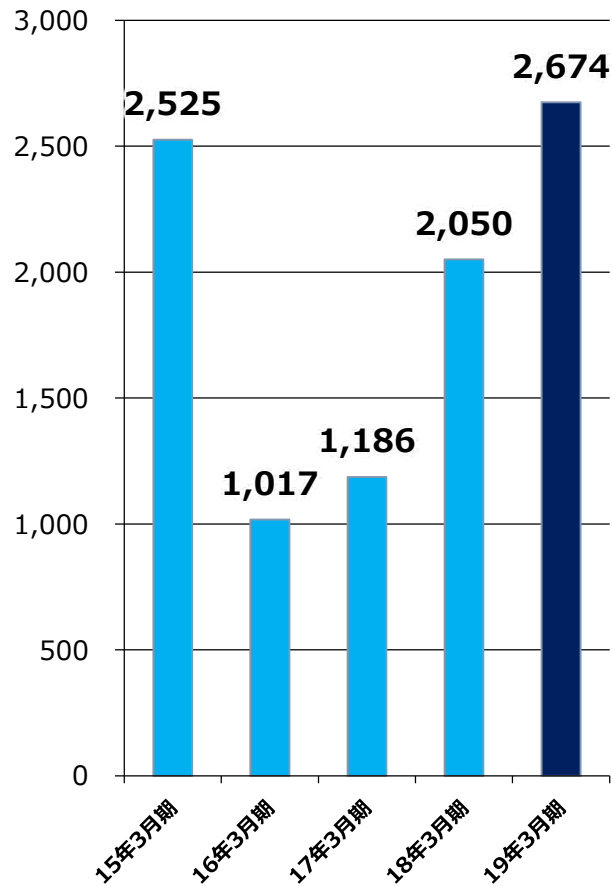
【連結売上高の推移】



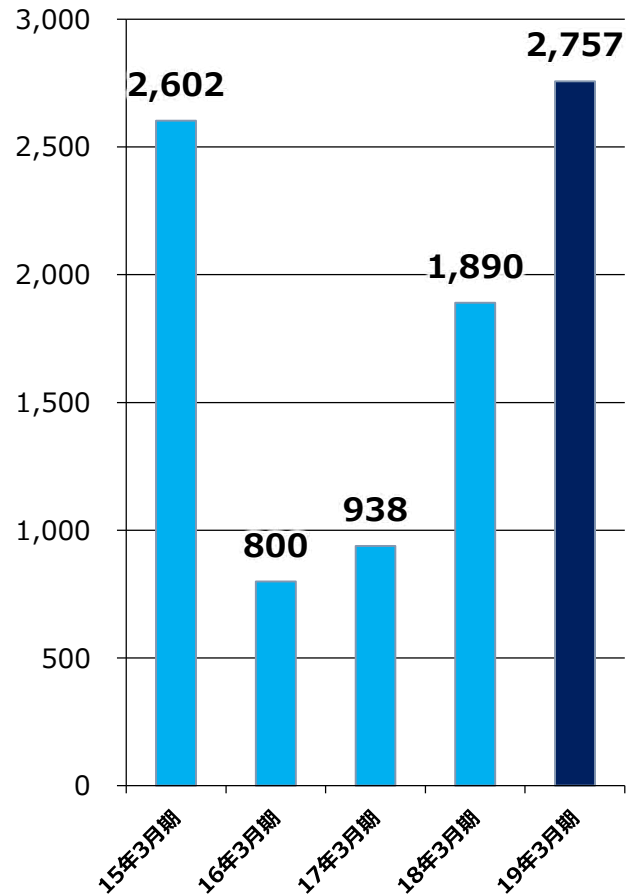
(単位：百万円／百万円未満切捨て)

利益の推移

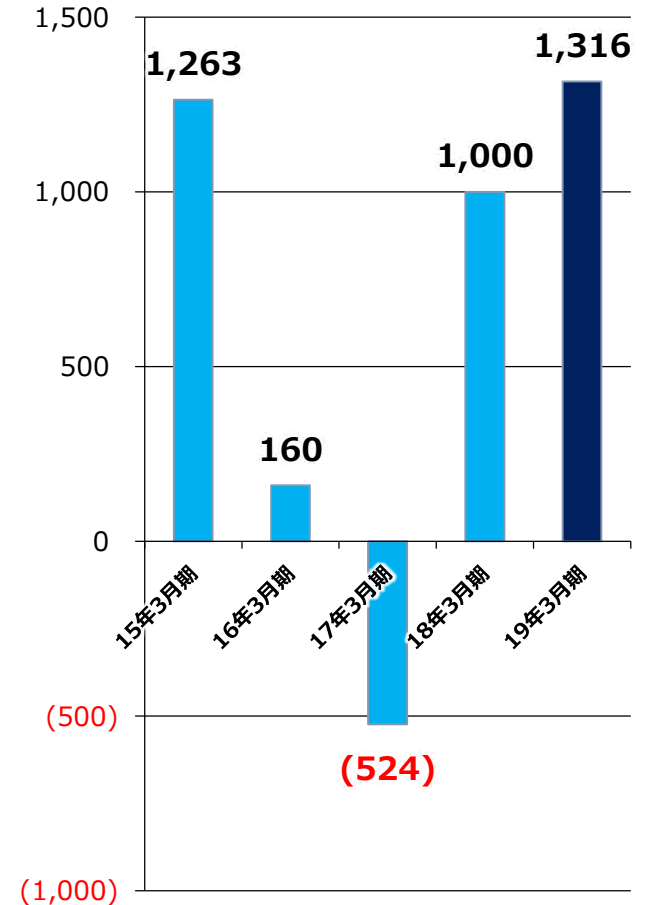
【営業利益の推移】



【経常利益の推移】



【当期純利益の推移】

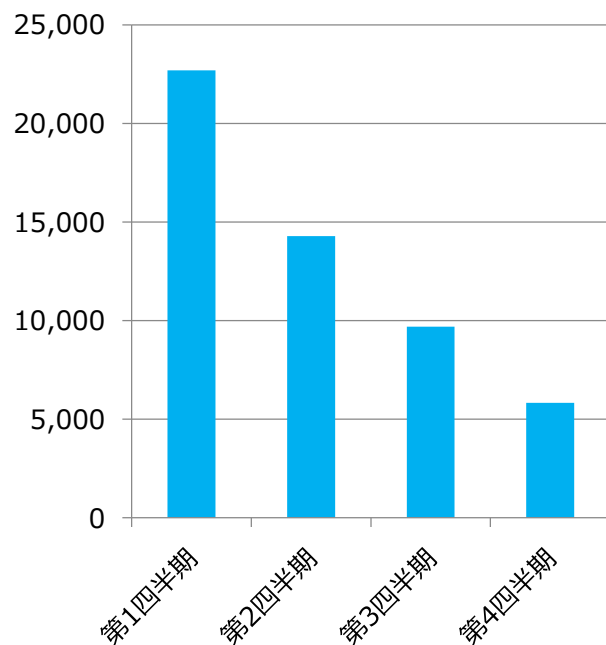


(単位：百万円／百万円未満切捨て)

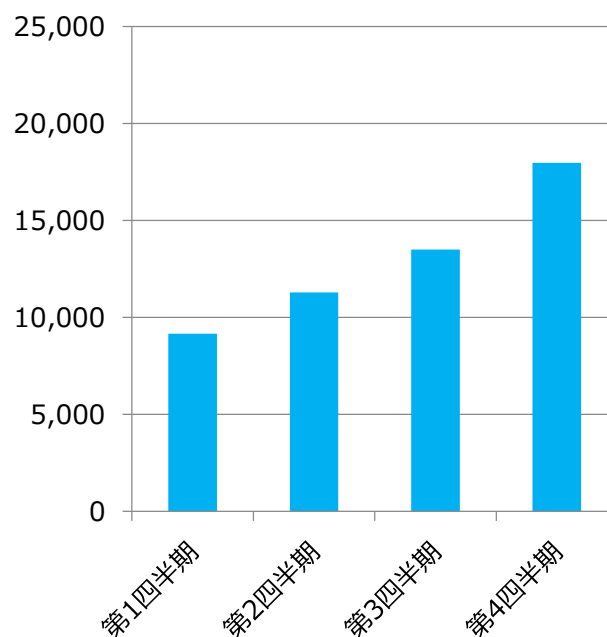
四半期ごとの受注高・売上高・営業利益の推移

(単位：百万円／百万円未満切捨て)

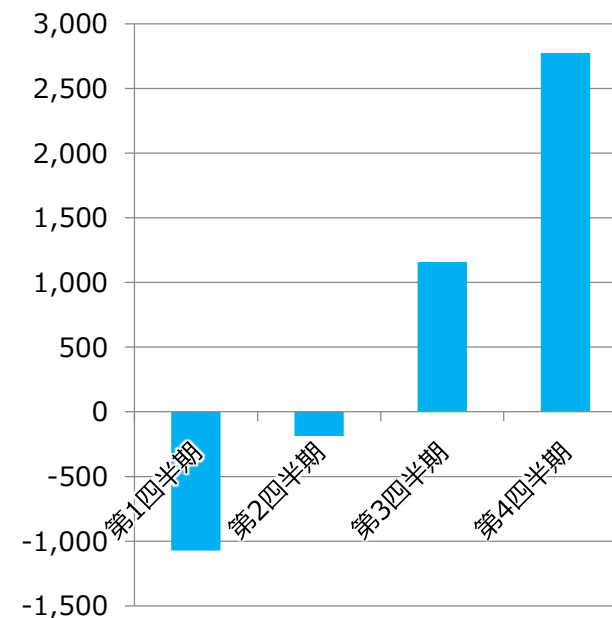
【連結受注高】



【連結売上高】



【連結営業利益】



＜事業活動の特徴と傾向＞

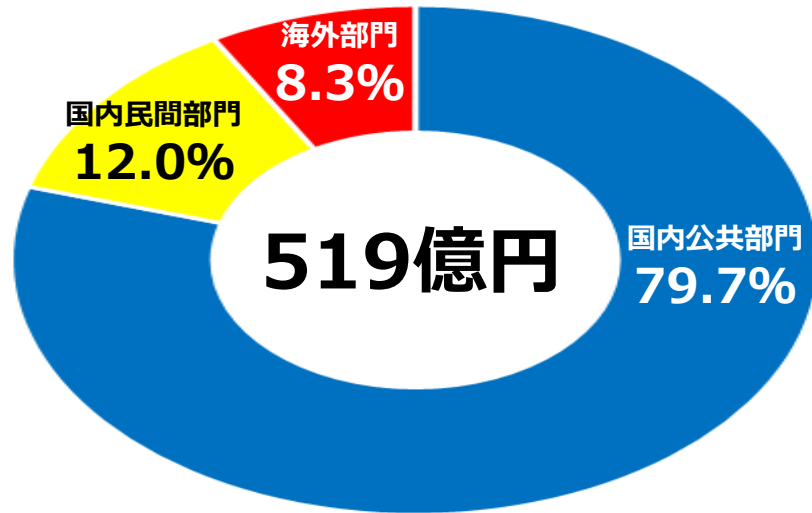
- ・売上高の約8割を占める国内公共部門の受注、生産活動に大きく影響を受ける
- ・受注は、地方公共団体からの業務発注の時期と連動、上半期に多く、年度末に向け減少する
- ・収益は、年度末納期に向けた生産活動の増加に伴い、第4四半期にピークを迎える



Surveying the Earth to Create the Future

- 部門分類と概要
- 部門別 決算概要
- 部門別 事業活動の状況

部門分類と概要



国内公共部門

行政機関を顧客とする空間情報事業

- 行政業務の効率化支援
- 固定資産税評価関連業務
- 道路、上下水道などのインフラ維持管理業務
- 都市計画・防災計画の策定業務
- 住民サービスの向上と地方財政の健全化支援など

海外部門

世界で展開する空間情報事業

- 国土空間データ基盤整備（航空撮影、地図整備等）
- 環境保全・災害対策
- 道路維持管理
- 高精細航空写真を使った不動産管理（先進国）など

国内民間部門

民間企業を顧客とする空間情報事業

- 物流の効率化支援
- 企業の自然災害対策支援、BCP策定支援
- 出店計画や商圈分析などのエリアマーケティング支援
- 営業行為の効率化支援など

部門別 決算概要

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

	2019年3月期連結累計期間				受注残高	
	受注高	前年同期比	売上高	前年同期比	残高	前年同期比
国内部門	49,020	+ 5.4%	47,591	+ 2.9%	18,844	+ 8.2%
(公共)	42,664	+ 5.9%	41,339	+ 2.2%	13,503	+ 10.9%
(民間)	6,355	+ 1.8%	6,252	+ 8.0%	5,341	+ 2.0%
海外部門	3,467	- 24.0%	4,312	- 10.5%	2,052	- 32.6%
合 計	52,487	+ 2.7%	51,903	+ 1.6%	20,897	+ 2.1%

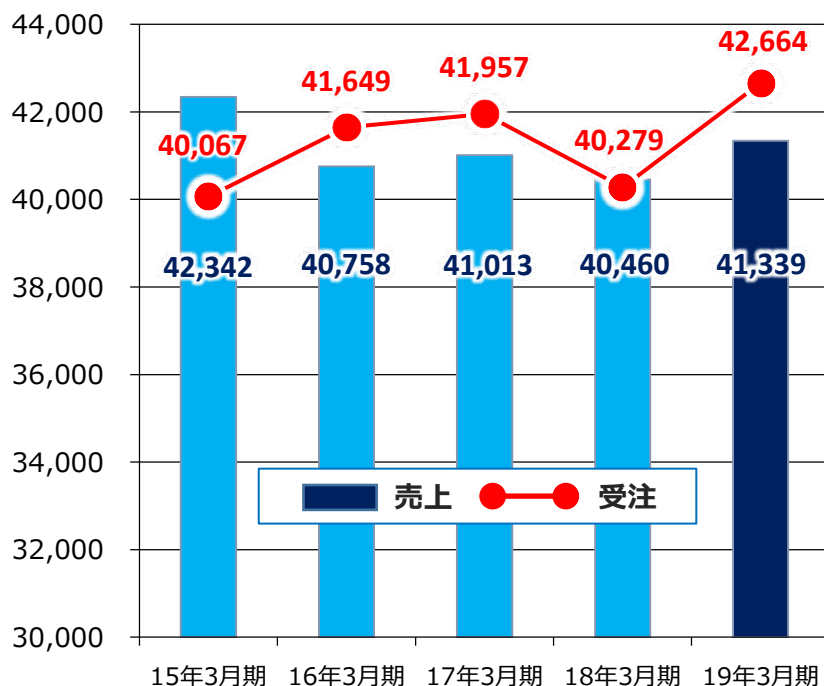
部門別 事業活動の状況

国内公共部門

(単位：百万円／百万円未満切捨て)

【受注高】 42,664百万円 (5.9%増)

【売上高】 41,339百万円 (2.2%増)



行政機関を顧客とする空間情報事業

1

固定資産税評価関連業務が好調

2

国土強靱化に向けた、
河川関連業務（計測、管理、対策）が好調

3

森林・農地、道路・上下水道管理など
の現状把握と台帳整備の業務が好調

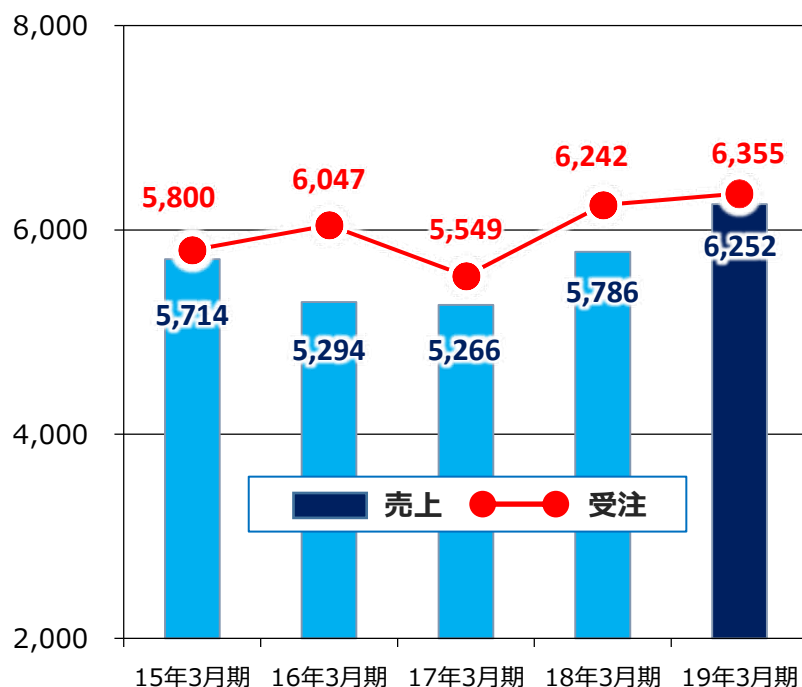
部門別 事業活動の状況

国内民間部門

(単位：百万円/百万円未満切捨て)

【受注高】 6,355百万円 (1.8%増)

【売上高】 6,252百万円 (8.0%増)



民間企業を顧客とする空間情報事業

1

物流業務の配送効率化に向けた
業務提携とサービスの充実に努める

2

鉄道・通信・不動産事業者向け
用地と売買情報の管理サービスが好調

3

高精度3次元地図の整備業務、
地図コンテンツの販売などが好調

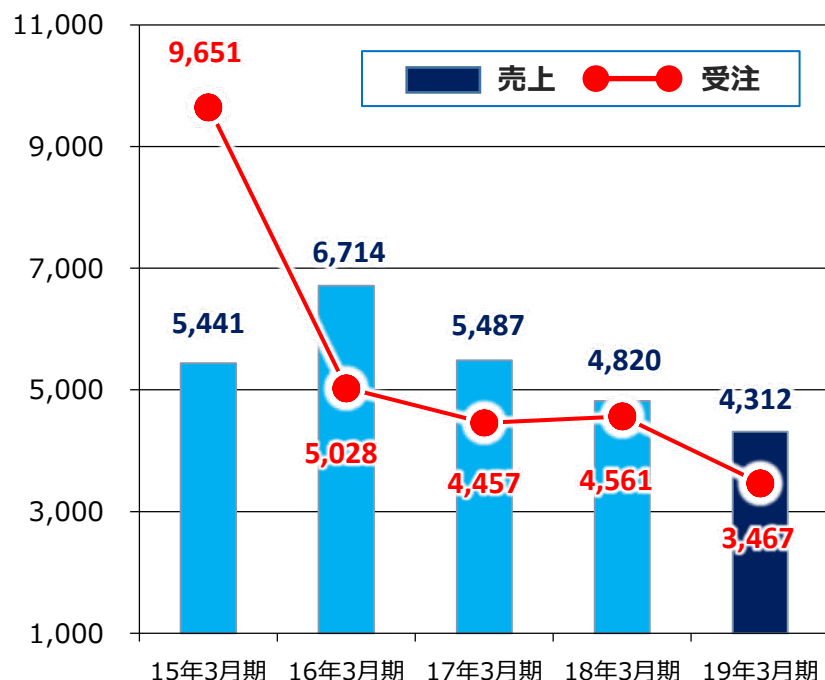
部門別 事業活動の状況

海外部門

(単位：百万円/百万円未満切捨て)

【受注高】 3,467百万円 (24.0%減)

【売上高】 4,312百万円 (10.5%減)



世界で展開する空間情報事業

海外子会社社会の経営の最適化中

東南アジア・北米

生産工場としての能力向上
母国市場での事業拡大

欧州・南米

事業の最適化

※フィンランド、ラオスは2017年度、ベトナムは2018年度に清算済み

1

開発途上国支援
新たな業務領域へ拡大

2

衛星事業ノウハウ 世界市場へ



Surveying the Earth to Create the Future

〈2020年3月期〉 方針と業績予想

“パスコグループ中期経営計画 2018-2022” 達成に向けた2年目

継続方針

「稼ぐ力」の強化

海外事業の健全化
＜完結の年＞

管理コストの適正化

新たな方針

未来人材教育

IoT時代の
サイバーセキュリティ

NewSpace時代へ
の挑戦

未来人材教育

将来にわたる企業成長に欠かせないAIやイノベーションの人材育成を強化する

IoT時代のサイバーセキュリティ

安全に安定した行政支援サービスを提供するための情報セキュリティの強化
生産性向上に資する社内の基幹システムの増強を図る

NewSpace時代への挑戦

「Remote Sensing」と「Onsite Sensing」の2つの視点から社会の事象を捉え、
分析・解析技術を使って社会の課題を解決してきた実績とノウハウで、
今後到来する民間主導の「NewSpace」時代に挑戦する。

NewSpace時代への挑戦

衛星活用のこれまでの実績、ノウハウに加え、



© JAXA

超小型衛星の活用を推進

【2019年3月27日】
スカパーJSATと
宇宙事業に関する業務提携

国産地球観測衛星「ALOS-3」

観測幅**70km**／分解能**80cm**
の優位性を生かし世界へ提供

【2020年度】 打ち上げ予定
【2021年度】 撮影成果の販売開始

<戦略分野>

農業、漁業、森林、災害監視、インフラ老朽化

将来を見据えた法整備への対応 ICTと空間情報を融合した生産性向上

地方税法、都市計画法、道路法、河川法、下水道法、水道法などの法律に基づく行政業務を支援するなか

森林環境税（森林環境譲与税）、水道法、下水道法への対応

森林関連事業

森林台帳の整備
森林資源・地形解析
地域産業の振興 など

上下水道関連事業

台帳の整備
共有化・広域化・官民連携
下水道の企業会計への移行 など

国土強靱化への対応

防災・減災関連事業

土砂災害危険地域の評価と対策
各種ハザードマップ整備

河川関連事業

3次元計測技術による
河川管理の高度化とリスク対策

道路関連事業

重要インフラのアセットマネジメント

ICTと空間情報を融合した生産性向上

物流

輸配送業務の効率化に向けた
コンサルティングとサービス提供

i-Construction

ICTを活用した生産性向上の推進
調査・測量・施工・維持管理まで

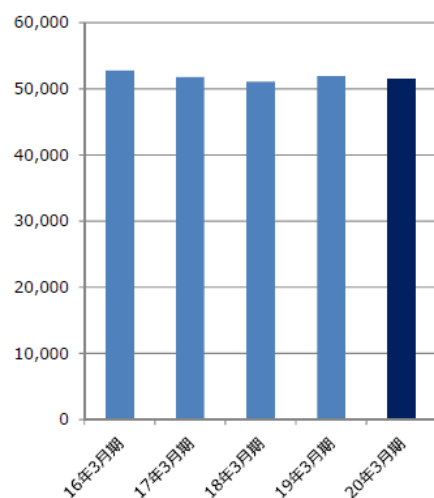
2020年3月期

連結業績予想

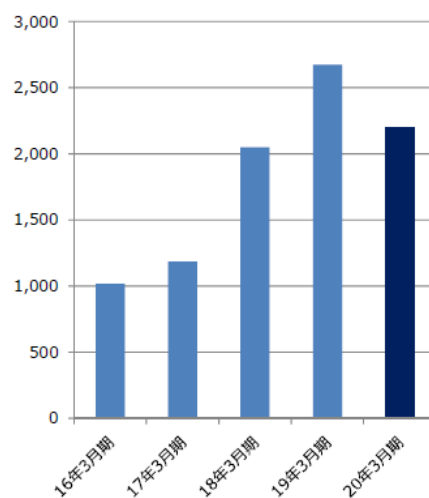
(単位：百万円／百万円未満切捨て)

	2019年3月期実績	2020年3月期計画値	前期比増減	
売上高	51,903	51,400	-503	-1.0 %
営業利益	2,674	2,200	-474	-17.7 %
経常利益	2,757	2,100	-657	-23.8 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,316	1,100	-216	-16.5 %

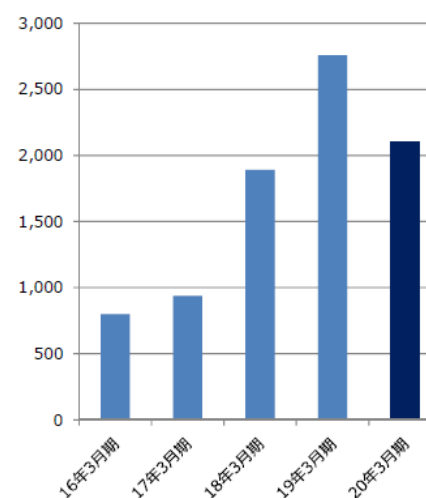
【売上高】



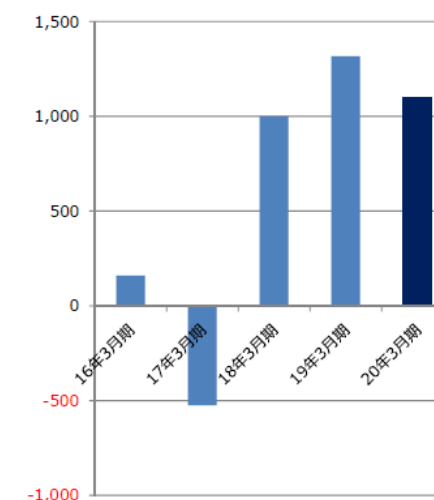
【営業利益】



【経常利益】



親会社株主に帰属する
【当期純利益】





Surveying the Earth to Create the Future

**パスコグループは、
今後も、持続的な企業成長に向けた
利益体質への変革に取り組んでまいります**



Surveying the Earth to Create the Future

株式会社パスコ <会社プロフィール>

【創業年月】	1953年10月
【事業所】	本社 東京都目黒区（全国57事業所）
【代表者】	代表取締役社長 島村 秀樹
【資本金】	87億5,848万円（2019年3月末現在）
【連結売上高】	519億円（2019年3月期）
【従業員数】	連結：2,693名、単体：2,116名（2019年3月末現在）
【グループ会社】	連結子会社：15社、関連会社：1社（2019年3月末現在）
【主な株主】	セコム株式会社（議決権比率71.4%）

■ IRに関するお問い合わせ E-mail : 9232-IR@pasco.co.jp

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載された今後の戦略や予測等は、資料作成時点において弊社が合理的と判断したものです。

実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があり、そのとおりに実現することを保証するものではありません。また、本資料は今後予告なしに変更されることがあります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。